

令和3年3月24日

脇之島小学校 保護者様

脇之島小学校

校長

鈴木 恭三

## 春休みの生活に関わって

平素は、本校の教育活動に、ご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

さて、27日からの春休みに関わって、学校では学習や生活、健康面等から指導を行っています。安全に楽しく春休みを過ごすためにも、各ご家庭で、春休みの過ごし方について、お子さんと話をししてほしいと思います。特に、不審者対応に関わっては、野外での児童の安全を守るという点でたいへん重要になってきますので、学校と家庭で足並みを揃えて子どもたちに伝えていけるとよいと思います。

以下に学校で指導した内容をまとめました。また、裏面には、岐阜県警から出されている不審者対応のリーフレットを掲載しました。読んで頂き、お子さんが、いざというとき、自分で身を守ることができるように声かけや見届けをよろしくお願ひします。

何かお気付きのこと等ありましたら、遠慮なく学校にお申し出ください。

不審者に関わる学校での指導内容（☆はお家の方にも考えて欲しい内容です。）

### 「命を守る距離」について

- ・怖い人、不審者には近づかない。「命を守る距離」は、1メートル以上、両手を広げた長さぐらい。相手が捕まえようと手を伸ばしたとき、届かない距離を常に保つ。一歩近づいてきたら一歩後ろへ退き、3歩近づいてきたら、3歩退くという具合に、常に相手との間を空けておく。そして、何かあったら後ろを向いて全力で走って逃げる。  
☆普段から相手との距離をとって生活する習慣を身に付けさせることも大切です。

### 「家の人に話をする」ということについて

- ・何かあったら、家の人や近くの大人にすぐに話す。近くに大人がいれば、「助けて。」と大きな声で叫ぶ。また家に帰ったら、小さいことでも必ずお家の人に話をする。どうしたらよいのか、お家の人と一緒に考える。  
☆お子さんが、放課後や休みの日にどこで遊んでいるか、何をしているのか、十分な把握をすることが、お子さんを不審者等から守る一歩となります。いざということきに、適切な行動ができるように、普段から話し合ってみてください。

### 「いかのおすし」「セーフティファイブ」について

- ・「いかのおすし」
  - 1 知らない人についていかない
  - 2 知らない人の車にのらない
  - 3 怖いことがあったら「助けて」と大声を出す
  - 4 大人がいる方へすぐにげる
  - 5 どんなことがあったかお家の人にすぐに知らせる
- ・岐阜県警「セーフティファイブ」
  - 1 「一人にならない」
  - 2 「ついていかない」
  - 3 「大声をだす」
  - 4 「近づかない」
  - 5 「話をする」

☆お子さんの「自分の身は自分で守る力（危険予知能力・危険回避能力）」の育成に、ご理解とご協力をお願いします。